

## 柔道グランドスラム東京大会（2009年12月12日）

### ルネッサンススピーチ

横澤 由貴

皆さんこんにちは、ただいまご紹介いただきました三井住友海上の横澤由貴です。

今日は、柔道ルネッサンスということで、少しお時間をいただき、私が経験したことや感じたことを少しお話させていただきたいと思います。私は今まで柔道をやってきて本当に沢山のことを学ぶことが出来ました。試合では日本国内だけでなく、海外にまで行くチャンスをいただき、本当にそこで沢山の経験をさせていただきました。そして、また本当に沢山の方と出会うことができました。そんな経験が私の宝物になっています。本当に柔道をやっていて良かったなと思っていますし、これからも柔道に携わって行きたいと思っています。現役を引退した今、これからは私の知っていることを他の本当に必要としている人達に少しでも伝えて行けたらいいなと思うと同時に、私自身もこれからもっと視野を広げ、成長して行きたいなと思っています。

さて、私が現役をしていた頃なんですけれども、もちろん競技をやっていたので常に一番になりたい、そして強くなりたいと思うだけで練習をしていました。でも、沢山の経験や人との出会いで、柔道はただ練習をしているだけでは強くなれないんだなということ気付かされました。ラッキーなことに、私の周りには柔道だけでなく、本当に人間的に尊敬できる方々が沢山居ます。私が怪我で本当に苦しんでいる時や、なかなか試合に勝てずに落ち込んでいる時など、本当に沢山の方々に励まされました。そんな時にどうしても柔道が強くなれるかなと考えて、強くなりたいと思った時に柔道の練習をするのは当たり前、そこで私は普段の生活から直すことにしました。それは本当に小さなことなんですけれども、自分の部屋をきちんと整理してきれいにする。そして物を大切に扱う。そして他の人の気持を考えられる人間になりたい。そういうことから始めました。そういった当たり前のことをしっかりすることも柔道に繋がって行くんだなということを実感しました。また、私は去年、引退してから一年間、カナダに留学する機会を頂いたのですけれども、そこで私は柔道クラブに入っていました。クラブでの練習が終わり、柔道衣をたたんでみると、小さな女の子が私の所に来て「どうやってたたむの？私に教えて」と言いました。その女の子は、その日から柔道の練習が終わると、きちんと柔道衣をたたんで持ち帰るようになりました。私はその経験から、私にでも伝えられることがあるんだなと嬉しく思うと同時に、自分の行動には責任がある、普段から誰に見られても恥ずかしくないよう、しっかりとした行動をとらなければいけないと思うようになりました。

そして最後になりますが、柔道をやっている皆さん、柔道が出来るというのは当たり前のことではありません。私がここに居るのもそうなんですけれども、両親が居るから私がここに居るわけで、本当に両親には感謝しています。そして、柔道をやっている皆さん、今使っている柔道衣を買ってくれたのは誰ですか？ 柔道を教えてくれた先生方、また支

えてくれる方々、応援してくれる方々は誰ですか？ そして柔道が出来る道場があるこう言った本当に恵まれた環境に感謝をして、私を含め柔道に係わる皆さんがやって行けたら、もっともっと柔道は良くなって行くと私は信じています。

会場にお越しの皆さん、選手の皆さんは、皆さんの応援が本当に力になっていると思います。皆でこの大会を盛り上げて行きましょう。そして選手の皆さん、誰でもがこの畳の上に上られる訳ではありません。沢山の人の支えられ、この畳の上に上られることを幸せに感じ、全力で戦って下さい。

どうも有り難うございました。